

H28年次 道路分野 選択科目Ⅱ 道路空間や地域の価値向上に資する道路緑化の役割について説明せよ。また道路緑化の計画及び設計段階における留意点を述べよ。
(1枚以内 横 24×25 600*1 600字以内)

1、道路緑化の役割

ア) 周辺環境との調和および景観向上

緑化空間の形成により、各家の採光や通風を確保し、
景観の向上、ヒートアイランド現象の緩和、大気浄化、

5 交通騒音の低減効果がある。

イ) 道路利用者の安全性、快適性の向上

視覚や線形予告等の誘導機能、明暗順応、遮光、立
入防止、緩衝等の事故防止機能、緑陰による休憩助成
機能等がある。

10 2、留意点

ア) 周辺環境との調和および景観向上の留意点

道路計画においては、植栽地の意匠並びに樹木等の
構成及び配置の決定にあたり、気象条件、緑化等に關
係する地域の計画との整合、沿道状況、美しい景観形

15 成、想定される維持管理水準（剪定頻度等）等に留意
すること。

イ) 道路利用者の安全性、快適性向上の留意点

植栽設計においては、供用後の枝葉の繁茂や剪定頻
度等も考慮に入れ、交差点内の視距や横断歩道の歩行

20 者等の視認性、歩行者や車両の通行空間の確保に支障
を生じないように留意する。また、日本風景街道等の美
しい景観形成が必要な地域や、景観法に基づく景観重
要公共施設においては、樹形や植栽地の美しさを維持
するため、十分な剪定や除草等の頻度を確保するなど

25 の措置を講じることが望ましい。